

守山まるごと活性化 議事要旨

作成日 2015/6/14(日)
作成者 守山会館 平井

会議名: 守山学区まるごと活性化Aプロジェクト会議

日時: 平成27年6月14日(日)

場所: 守山会館

出席委員: 伴野委員長、井上代表、和田副代表、奥村、竹村、小嶋、本城、志水、杉本

出席者(行政): 地域振興課 坪内課長、守山会館 田中館長、平井主事

使用資料:

議題

平成27年度の進め方について

会議要旨

内容

○平成27年度代表・副代表の選出について

館長より、今年度の代表・副代表の選出について意見を求めた。

→委員より、昨年度に引き続きお願いしたいという意見があり、全会一致で賛成となった。

平成27年度 Aプロジェクト 代表:井上 純作 副代表:和田 信雄

○平成26年度総括の確認

館長より説明

- ・5月24日(日)の全体会議で各代表より各プロジェクトの取組状況について説明があったが、欠席者もいたため、再確認のため説明。

- ・昨年度一年間まるごと活性化に取り組んで、守山市全体としては進捗状況はどうか。
- ・どこの学区も、守山学区と同様に優先順位を付けて取組んでいただいているところで、引き続きお願いしたい。(行政)
- ・まち・ひと・しごと創生委員会で各学区の取組を聞いていると、4. 5つ程あるプロジェクトの内、1. 2プロジェクトのみを取り上げて集中的に取り組んでいる学区が多い。
- ・行政が自治会をどう捉えているのか。他の市のホームページでは、自治会の会則を示したりと、自治会に寄り添う姿勢が見えるが、守山市にはあまり見られない。今後市として、どのようなスタンスで市長が良く言っておられる「自治会活動が素晴らしい町」をどう指導していこうと考えているのか、考えをまとめてほしい。また一方で自治会としても、活性化するためにどうしたら良いのか考えていく。
- ・同様に思っており、添付書類の中にホームページで探した長浜市の自治会ハンドブックを付けた。ハンドブックには、自治会とはどんな組織なのか、また自治会の会則(案)等も示されており、今後守山学区として行政と連携する中で、このような自治会ハンドブックを作っていければと思う。

会議要旨

内容

- ・自治会は、あくまで自主組織なので、行政からの依頼も義務ではないと思う。しかし、自治会活動を行う上では、どうしても行政の支援を受けないと運営が難しいので、行政として自治会をどう考えているのか知りたい。そのため担当課等と意見交換ができればと思う。
また、自治会ハンドブックは賛成であり、プロジェクトで素案をまとめて、行政の方で最終的に印刷してもらうのも良いのではないかなと思う。
- ・守山学区からまずは提言して、他の学区にも広げていけたらと思う。
- ・これが守山学区としての意見であるので、自治会ハンドブックという形にまとめていきたい。
- ・勝部は人数が多いので、実質自治会の組織は一丁目から六丁目までの6つに分けている状況である。草津市は、細かく自治会が分かれており、うまく運営している。
- ・自治会の規模の適正化も問題である。

○平成27年度の進め方

館長より説明

- ・昨年度まとめた課題6つについて、2グループに分かれて議論していただく。
- ・一定本プロジェクトで協議して意見がまとまった後、わがまちミーティングに参加された方やまちづくり推進委員の方を交えて再度議論できればと思う。
- ・まるごと以外の方から意見を伺うのも良いが、意見を多く聞くとまとまりにくくなるのでどうかと思う。
- ・意見が多くなるとまとまりにくい、会社勤めの方など、自治会活動に参加できなかった方が、話の場に参加することだけで盛果である。
- ・基本的には、P5ページのたたき台通りに進めて行くこととしてよろしいですか。→異議なし

決定事項

- ・6つの課題について2グループに分かれてワークショップ形式で議論していく。
- ・1月～2月頃に他の住民を交えて再度ワークショップを行う

次回以降について

次回会議: 7月26日(日)